

平成21年度環境技術実証事業検討会

小規模事業場向け有機性排水処理技術

ワーキンググループ会合(第1回)

議事要旨

1. 日時：平成21年4月20日10:00～12:00

2. 場所：航空会館 501会議室

3. 議題

- (1) WGの設置について
- (2) 実証試験要領の見直しについて
- (3) 実証機関の公募・選定について
- (4) 今後のスケジュールについて
- (5) その他

4. 出席検討員：藤田座長、岡田委員、徐委員、中井委員、名取委員、宮腰委員

5. 配布資料

- 資料1 平成20年度環境技術実証モデル事業検討会有機性排水処理技術ワーキンググループ会合(第2回)議事概要(案)
- 資料2 平成21年度環境技術実証事業検討会有機性排水処理技術ワーキンググループ設置要綱(案)
- 資料3 平成21年度環境技術実証事業 小規模事業場向け有機性排水処理技術分野実証試験要領(第1版)に向けた見直し
- 資料4 平成21年度環境技術実証事業 小規模事業場向け有機性排水処理技術分野実証試験要領(案)
- 資料5 小規模事業場向け有機性排水処理技術分野における実証機関選定の考え方について(案)
- 資料6-1 実証機関の募集における申請書類について(案)
- 資料6-2 実績実証機関継続申請書類について(案)
- 資料7 今後のスケジュール(案)

参考資料 平成21年度環境技術実証事業実施要領

6. 議事

会議は公開で行われた。

(1) WG の設置について

事務局から資料2に基づき資料を説明した後、WG設置要綱に沿って進めることが、検討員により了承された。

(2) 実証試験要領の見直しについて

事務局から資料3、4に基づき、実証試験要領の見直し(案)について説明。

- ・汚泥発生量(減量化)の実証方法については、汚泥の分析方法は固型分・含水率が適切であり、高塩分の場合には不溶成分としての分析が妥当であるとの指摘があった。
- ・また、汚泥の採取頻度等については、水質と異なり、汚泥の搬出量や搬出回数等で決めるのが適当との指摘があった。
- ・水質の実証方法としては、汚濁負荷変動が小さいことが確認できる場合には、週間試験を省略(又は試験日数を削減)が可能であると指摘があった。
- ・厨房・食堂、食品工場以外の排水も対象としており、試験要領名での「(厨房・食堂、食品工場等関係)」を削除しても問題ないとの指摘があった。
- ・また、ワーキングの名称も、試験要領に合わせて「小規模事業場向け」という名称を付加するのも問題ないとの指摘があった。

(3) 実証機関の公募・選定について

事務局から資料5、6-1、6-2に基づき、実証機関の公募・選定について説明。

- ・今回から「独立行政法人」の応募も可能となった点以外は、昨年度と同様に、過去に実証機関としての実績のある機関が応募する場合には手続きを簡略化することが確認された。

(4) その他

事務局から、資料7「今後のスケジュール(案)」について説明。

- ・今回の会合については公開であり、議事についてはホームページに公開することが了承された。

(文責:環境省水・大気環境局総務課環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり)